北齋畫鑑　全

北斎画鑑序

いにしへに名ある絵師どもの元あつかざるは
筆のはきかたいろもて其品を撰ぶ人々ではされ
真偽は見きはめがたし北斎翁の一家の画風
三歳の童子まで志りてまぎらはるゝことなきはいかなれる
なぞ是東辟主人が翁の筆を数刻して
海内に弘めしいさをなりきさればこそ翁の高名
れるは画のちからのいと浅許にはあらざらくの

功欽さみれ勝労たやまくハさハめかくしきみれ
編のけうきを絵本の中みれ證をあらはしく
画名然てるにあるへし

春江志るす

唐子遊（からこあそび）

三福神（さんぷくじん）

布袋（ほてい）

戯丑（たはむ）

猩々舞

耕作

伊勢参

旅中の雨

せつちう
雪中
風
その
其二
その
其二

月下

琴碁書画

婦人子愛

子共戯

村老評儀

野豕

猪番屋

仁田の四郎

武志士

蝦蟇

張九歌

蘆葉達磨

寒山十得

李伯

子英

上利劔

王子章

林和靖

鳶松魚を奪

東坡赤壁

獨角力

大根賣
牛飼
函女の川渡

渡唐
天神の像
公卿

鳳凰

麒麟

神前七鈁

白狐

佛師

金剛神

荒木の丈方にハ何〻ずと
いふ人ありとも志よしんの
ためにせんろを要するな
りやう成る人てまつれ
たち成あすと
あるべし

鍾馗

鬼

鯛たい

魁蛤あかゞひ

烏賊いか

鮑あはび

鱝えい

蛸魚たこ

鰹かつを

䲔鮝するめ

黄鱨あかうお

鯥くろたひ

飛龍（ひりう）

摩唱魚（まかつぎよ）

雨龍（あまりう）

梅
福壽艸
枇杷の花

川骨
桔梗
杜若
杜丹

菌（きのこ）

地楡（ワレもかう）

蕨（わらび）

暖蒲（たんぽぽ）

櫻（さくら）

椿（つばき）

水仙（すゐせん）

葡萄（ぶどう）

鯎魚（あゆ）

梅（むめ）

蕗臺（ふきのとう）

鼓子花（ひるがほ）

蕣（あさがほ）

夏菊（なつぎく）

紫陽花（あぢさゐ）

蓮（はす）

鬼蓮（をにはす）

水葵（みづあふひ）

凌霄花

秋葵

萩

虎耳艸

忍艸

蔦紅葉

麒麟角

象

獅子

猿

鹿

霊猫

唐犬

羊

景清（かげきよ）

金太郎（きんたろう）

禁噲（きんくわい）

辨慶（べんけい）

一期栄（いちごさかへ）

浦嶌（うらしま）

高砂（たかさご）

前北齋為一老人画圖

安政五年
戊午孟春

江都日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛
同 二丁目 山城屋佐兵衛
同 二丁目 小林新兵衛
同 芝神明前 岡田屋嘉七
同 和泉屋市兵衛
同 和泉屋吉兵衛
同 横山町一丁目 出雲寺萬次郎
同 三丁目 和泉屋金右衛門
同 浅草茅町二丁目 須原屋伊八
同 下谷御成道 英文藏
同 下谷池端仲町 岡村庄助
同 本石町十軒店 播磨屋勝五郎
尾州名古屋本町七丁目 永樂屋東四郎 板

尾張東壁堂藏版画譜繪手本目録

神事行燈 自初編至五編 各一冊

此画本は川柳風の狂句を画きて洒落の筆意をつくしたる流行れ画体にして神事祭禮の掛行燈に用ゐ画き滑稽の臨本なり初学の童児師とせずして画くべき便利の書なり

蕙齋麁画 自初編至五編 各一冊

此書は畧画の臨本にして名家の筆刀をつくし数年の工夫をもていかなる人にも学びとりて早速席上に一興をそふべき便となれし風流漫戯の氣象を得たり四方の詞客俳人達此画の力をそへて雅席のたすけとなしさまりしまん〳〵趣ありて清興限なかるべし

武勇魁圖會 初編二編 各一冊

溪齋英泉翁神代の往古より武勇の誉勝たる名将勇士珍奇の圖を集め傍に小傳を加へ抜萃せし書目をもあらはし其本傳を求る便となせり里見八犬士大内十杉士等乃武者の画本は稀なる人物をも摸出して童蒙の伽草子に成べく圖を求るに重宝の画本之

珖琳漫画 全一冊

法橋珖琳先生は一家の風韻にして専ら世にもてはやされり中にも此書は或人の秘藏せしまし正筆を得て開版せし書にして珖琳風の草花を学ぶには是に通じたるものはあらじ蒔繪染摸様等に見合とせらるべき書之

北斎漫画　自初編至十五編　各一冊

此画譜ハ先生七十余年獨学一派の巧を尽し古今に比類なき翁の絶妙なる奇筆にして画を学ぶもの此編を貯へて坐右にせざるはなしといへり實に近世獨歩の名筆にて宇宙の間にあらゆる人物花鳥山水草木生有物を始として洩ることなく奇巧精密の筆を震はれし書く

北斎臨画　全一冊

前北斎翁に随て数年の煉磨精神をつくさば師の骨肉を得られたりなるらん此臨画ハ奇巧絶妙の図をあまたぬき出て輯せし臨本なれば画をまなぶ輩かならず坐右におきて有益の書なり誠に珎画随一の画手本なり

北斎画鑑　全一冊

前北斎翁画譜はあまたと画かれけれどもおほくはいへどもまけて此画譜ハ新工夫を以て趣を巧に一筆の運びこまやかに世間に画きなき図とも写し出されたれば珍しき画本にして實に浮世画を学ぶ人の鑑なり人物鳥獣ハ勿論狂画をもまじへ諸職の見合ともなる臨本なり

富嶽百景　全三冊

前北斎翁の画手本あまた有が中にも積年肺肝を摧き工夫を以て富士山絶景数百を模写せしものなり其神変自在なること誠に感絶なり彫物欄間盃に画等の手本にハ最奇々妙々たる名画なり

北斎画図　全一冊

前北斎戴斗翁の筆格に倣ひおもしろく絶妙の筆法をとりて草花の類を数多つくされ花の形容葉の理紋なども委しくうつりやすき様に画きたれば自在の筆力比類なし京都風と東都風との中間を写しいでられたり誠に浮世絵一風滑稽の人物草花の写生第一の書なり

北斎画譜　全三冊

此書ハ翁つねづね時にあたりて心にうかみ目に見るところの風情あるを人物花鳥をはじめ所在草木禽獣に至るまでことごとく細筆に模写して洩ることなし手近き絵手本なり

絵本庭訓往来　全一冊

北斎先生本文に合して人物鳥獣諸国産物其外の品に至るまでことごとく模写して解するに易く書ハ高雄文蜘堂先生の筆にして書画ともにまなぶべき為に妙を尽されし書なり

絵本女今川　全一冊

北斎翁文章にあはして幼女のために貞節賢婦の画を書加へて手ぢかき教とせられたる書にして女子として誠るべしハ此書にしくハあらじ一覧せば必益あることをよくしるべしとぞ悉く彩色をもて奇麗なる製本なれば土産物にハ最よろしき画本なり

浮世画譜　自初編至三編　各一冊

渓斎英泉翁ハ婦人画ふおゐてハ格別の名家なることハ普く世ふきこえ高し然るふ此画譜ハ先生浮世画を学ぶ初心の輩のためふ一家の骨法を以て筆力を顕されし書なり二編ハ略筆草画を旨として山水草花滑稽の人物を写し巻末に東海道駅路の狂画を出され編を嗣て弁用となさしめられり

英勇画譜　全一冊

名将勇士の世ふきこえたる誉を画きて詠哥一首づゝを加へ其傍ふおのおの伝を記しつゝ図とともふ伝をかゝしむるに有益の画本なり童蒙かならず見たまふべき書なり

一筆画譜　全一冊

北斎翁初心のためふいろいろも筆数をはぶきて萬物の形容を唯一筆にて画かれさせバ学ぶ人やすくと書覚自由自在なり實ふ略筆最上の名画なり

文鳳麁画　全一冊

先生一派の筆意絶妙なることハ其風韻骨格の意味深長ふして走画ふ妙あり此画譜ハ勝て筆法を旨とせられし比類なき画家の臨本なり

狂画苑　全一冊

墨僊翁滑稽狂画の図とあまたいれ洒落の筆力をつくされたる画体ハ臨本ふしても見るふあらず面白き画手本なり

英泉画譜　小本全一冊

英泉翁画譜数多を画かれしかども是ハことふ精神をつくし筆力を篭られし浮世画の臨本ふして其風情おもしろく且つさうらう巻中ふ碁盤割の法を悉く述たり画をまなぶ人かならず携へたまふべき書なり

金氏画譜　全一冊

此画譜ハ漢画必用の臨本ふして宋明の名画の筆格ふ倣ひ四君子の筆意骨法を悉く写し画上ふ各風韻の画意を記したり漢画を学ぶ人ハ師ふあふぐが如き書なり

福善齋画譜　全五冊

此画譜ハ章甫先生摸写の原版へ設色を加へ人物花鳥をはじめ蘭竹ふ及ぶまで嘉言先生の賛辞を載その製本来舶乃画譜ふ異ならずこれ漢画をまなぶ人かならず此画譜を坐右ふおきて妙用なり

浮世繪手本　折本全一冊

歌川国直子の画ハ疎密ともふ精妙なりさればふ人物花鳥をはじめ諸国の風景ふ至るまで筆力を究められし画本なれバ其骨格譬ふそのなしこれに製本美麗のうへ小冊とし懐中ふ便ならしむ

版元　尾州名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎